

# 被爆ピアノで繋ぐ ひろしま・ながさき

実施者: 中村園実

## ◎目的

・動画を観た人

音楽という身近な芸術によって、原爆や平和について関心を持ち、平和について考えてもらう機会を作ることを目的とする。

・合唱参加の学生

被爆地出身の若者として自らが主体となって平和への願いを発信する機会を与えることを目的とする。

## ◎こんな人に届けたい

広島・長崎の合唱に取り組む学生、動画閲覧者

## ◎実績

ピアノ演奏: 1人 合唱参加者: 50人

動画閲覧数: 約530回(2023年4月末時点)

## ◎事業の内容

広島・長崎の学生で被爆ピアノの伴奏によるリモート合唱を行う。その模様を動画投稿サイトに投稿する。また、両県でメッセージ交換等も行い、交流の機会を設ける。

全国の動画閲覧者より、折り鶴の写真を募り、学生たちの歌声とともに2本目の動画として編集し、投稿する。



## ①「被爆ピアノで繋ぐ ひろしま・ながさき」

<https://www.youtube.com/watch?v=CMjKBvV7juk>



## ②「被爆ピアノで繋ぐ ひろしま・ながさき～全国から届いた折り鶴と共に～」

<https://www.youtube.com/watch?v=sXpw6MRenKs>



## ◎事業の成果等

2つの被爆地のつながりを音楽で表現することができた。両県の学生が音楽を通して1つになることで、被爆の実相を伝えていく/平和な未来を作っていくという被爆地の若者としての共通の使命を再確認することができた。実際に学生たちからは、以下のような感想を聞くことができた。(1本目の動画のエンドロール参照)

- ・「あたたかい音がして。素敵なピアノの音色だなと思いました。」(長崎の高校生より。被爆ピアノの音色を聞いた感想。)
- ・「平和のこととかを同学年で考えて、歌で世界の人たちとか日本の人たちに届けることができたのですごく良かったです。」(広島の高中生より。)
- ・「この2県のみならず、(この企画を)色んな県でできれば、もっと平和について、色んなところで考えられるのか

なと思います。」(長崎の高校生より。)

両県の学生は直接会うことは叶わなかったが、メッセージや折り鶴を交換する交流の機会も創設したことにより、一体感も生まれたのではないかと考える。また、長崎の学生にとっては、被爆ピアノ自体が新鮮だったようで、広島に残る遺品についても知ってもらう機会になったと思う。

1本目のリモート合唱の動画については、再生回数が500回程度となり、多くの人に取り組みを知っていただくことができた。その動画を観た方から写真を募ったことで、視聴者に積極的な行動のきっかけを与えることができた。応募者の居住地は、台湾1人、長崎県3人、広島県2人、福岡県1人、大阪府2人、京都府1人、山口県1人、東京都1人。

集まった写真や動画は、学生の歌声と合わせて改めて編集し、動画として公開したことにより、被爆地の若者の歌声や想いが全国に届いていることを表現できた。

## ◎今後の取組み

- ・動画を Youtube に残すことで、引き続き多くの方の目に触れる機会を作る。



←チャンネルはこちら↓

<https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=CMjKbVv7juk&feature=youtu.be>

- ・自身の SNS などでも URL をシェア することでより多くの方の目に触れるよう努める。



被爆ピアノの演奏の様子と展示パネル